

人と森が仲良くなつて、すてきな未来につながつてゆく。

# mamori

No.12  
Autumn 2012

特集

## 明日の森へ、いつしょにつくづく。

付録

おやこ、ともだちで楽しむ

mamoriかるた4 この花の木を知りたいな

木と本と The tree and the book

家族で楽しめる、高知山の施設

みどりの遊び場

森からの贈り物

「mamori」は、木と人との共生、木の文化、森林環境税を活用した事業を伝える冊子です。

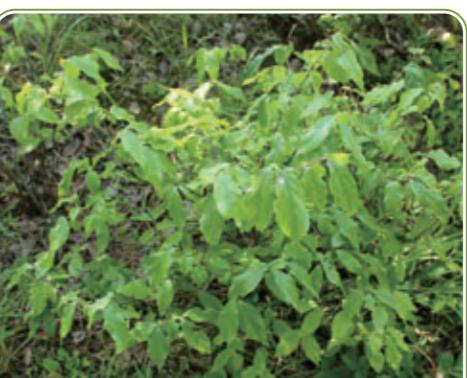
高知県は森林環境税を活用して、将来を担う子ども達への森林環境教育や森川海の連携・交流など、県民の主体的な活動の支援、間伐をはじめとする森林保全等を推進しています。森林率84%という全国一の森林県であることを誇りに、県民がそれぞれの立場で森林の将来を考えて欲しいと願います。



ピワ(枇杷)

バラ科 常緑高木  
花期11~1月

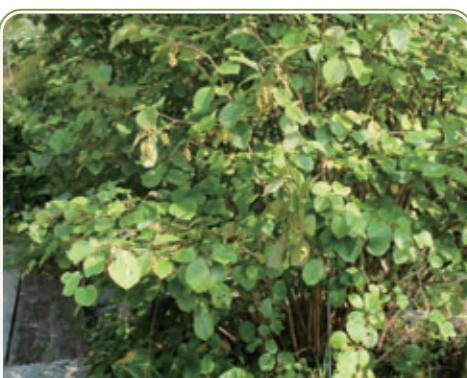
奈良時代以前に中国から渡來したといわれ、日本では主に暖かい地方で果樹として栽培されています。室戸市や須崎市が産地として知られ、5~6月に熟した果実は、気温が高い地域ほどおいしいそうです。葉や種子は薬に利用されます。



ロウバイ(蠟梅)

ロウバイ科 落葉低木  
花期1~2月

中国原産で江戸時代初期に渡來した、高さ2~5mの落葉低木です。名前に「梅」という字が入っているのは、花が咲く時期が同じで香りが似ているからですが、ウメの仲間ではありません。



トサミズキ(土佐水木)

マンサク科 落葉低木  
花期3~4月

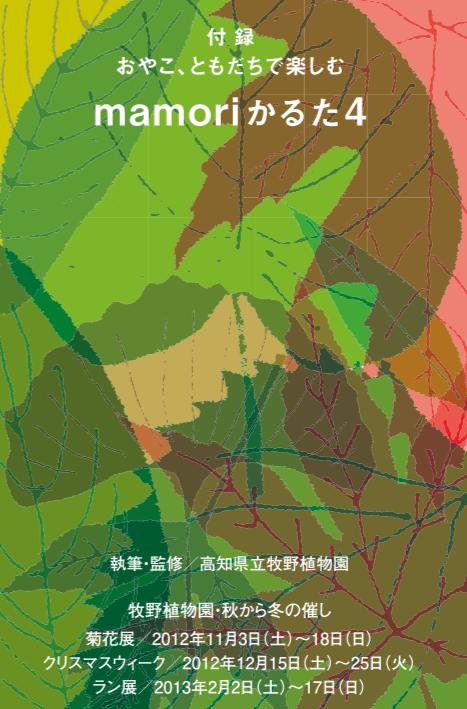
高知県の岩山に生える日本固有種で、木の高さは4mほどになるトサミズキ。この花は、高知市民の花に指定されていて、江戸時代中期から、観賞用として栽培され、現在も庭木としてよく植えられています。



ミツマタ(三桿・三叉)

ジンチョウゲ科 落葉低木  
花期3~4月

中国~ヒマラヤ原産で、日本には室町時代に渡来しました。木の高さは2mほどで、木の皮には、灰色の縦すじがあります。樹皮を製紙原料として利用し、明治以降は紙幣の原料になりました。枝が三つに分かれて出ることからこの名が付いています。



キブシ

キブシ科 落葉低木または小高木  
花期3~4月

北海道西南部、本州、四国、九州に生える日本固有種で、木の高さは約2~4m。湿り気と日陰を好みます。昔は木の髓を行灯の芯に、また、果実に含まれるタンニンを、女性のたしなみとして行われていたお歯黒に用いました。



フジツヅジ(藤躑躅)

ツツジ科 半常緑低木  
花期3~5月

本州(紀伊半島)、四国、九州に生え、木の高さは1~2mになるフジツヅジ。全体的に花も木も小柄で繊細な印象を受けるため、大きい花を咲かせるオツツヅジ(雄躑躅)に対してメンツヅジ(雌躑躅)とも呼ばれています。



ヤマブキ(山吹)

バラ科 落葉低木  
花期4~5月

北海道南部、本州、四国、九州、中国など、通常は、山地の湿った所に生えています。木の高さは1~2m。古くは山振という字が使われており、しなやかな枝が風に揺れる様子から名付けられたと言われています。



ヤマボウシ(山法師)

ミスキ科 落葉高木  
花期5~7月

本州、四国、九州に生え、街路樹などに利用される、高さ5~15mの落葉高木です。老木になると木の皮が不規則にはがれ、まだら模様になることが特徴。果実は甘く、直径1~1.5cmの球形で、9~10月に赤く熟します。



木と本と  
The tree and the book



# [特集] 明日の森へ、 いっしょにつくろう。

森を壊すのも、森を再生させるのも人のチカラ、  
私たちには大きな可能性があるという特集です。

森林保全ボランティアの方が作業後にいいました。  
「森の中の作業は楽しいし、  
間伐はとても大切だと思うけど、  
それだけでいいのかな?」  
そんな声が聞こえてくるなか、  
湧水が出なくなつた森、水が枯れた山を再生しようと  
大川村の有志たちが村有地にブナやミズナラ、クヌギなどを  
植えはじめました。  
30年後、100年後を見据えた息の長い活動です。  
大切なのは、明日の森。  
水が枯れた山がよみがえる。  
森が豊かになれば川や海も豊かになる。  
そんな思いを持って活動をはじめた人々の活動を追いました。



## 『木を植えた男』

ジャン・ジオノ 原作 フレデリック・バック 絵 寺岡襄 訳

あすなろ書房から発行。定価は1,680円

今回おすすめの本を  
ご紹介してくれた人

地紅茶生産者  
片岡桂子さん



高知大学農学部で森林科学を学び、会社員を経て、仁淀川町でお茶農家として暮らし始めた片岡さん。煎茶の二番茶でつくる「香る茶」は、渋みがでない、いい香りのするストレートティー。砂糖やミルクも必要なく、お年寄りや子どもにも飲めると好評です。

片岡さんの「香る茶」茶畠作業日誌  
<http://kaoruchadiary.blog89.fc2.com>



ひとりの男性が  
生命の息吹が地中からほとばしりでてきました。  
荒れ地に木を植え続けるなかで  
さみながら、物語は進行します。世の中のめまぐるしい移り変わりの中  
有名なお話ですが、皆さんは実際に読んだことがありますか。著者のジャン・ジオノの詩的で美しい静かな文章と、このお話のアニメーションでアーティストのフレデリック・バックのすばらしい絵で語られる、あるひとりの、ひとりで荒れ地に木を植え続けた男性の物語です。  
ふたつの世界大戦をはるかに超えて、この物語が語られています。それにともなって大地は生命力に満ちあふれ、活力を取り戻していく。森という存在の大きさとともに、このお話を語り返してみれば大きなことを成し遂げていました。地道に、あきらめずに、ひとつごとにことを積み上げていくことの尊さが光り輝くお話です。

大川村の山の谷水は「四国のいのち」早明浦ダムに集まる。僕たちはもう一度山のチカラを感じ、いつしょに育みたい。

# 100年先の森のために、 30年先の森のために、 今がう山にバランス良く 木を植えよう。



山に入る男が、  
谷が枯れたことに気付いた。

「私たちが小学生の頃には、山のいろんな場所で湧水があり、小さな谷があり、フキの葉っぱでも水を溜めて飲んでいた記憶が残っています。もうだいぶ前に、散歩をしている途中「確かにここに水が流れていたな」と気付いていましたが、今では谷がほとんど枯れている状況で、出ないのが圧倒的に多いですね。(山中さん)  
森林率も約94%と高く、四国の大河である吉野川の源流域にあたり、四国四県の水源地として知られる「早明浦ダム」がある大川村。水に対して不安がないと思われる村でさえ、「山の水が枯れる」と危機感を持った大川村の有志たち。その危機感が活動になり、「30年先の森のため、100年先の子孫のため」、枯れてしまった山から湧水や谷を復活させた。大川村はこれまでも山を大切にする活動をしてきました。例えば1972年(昭和47年)白滝鉱山が閉山、その後の交渉で村有地になってしまった。

た同場所を「村民の森」にしようと、お年寄りから子どもまで2、170本の広葉樹の苗木を植える運動を展開しました。また、森づくりをさらに広げていくために、コナラ、アラカシ、クヌギなど一粒のどんぐりからできることをする「どんぐり銀行」をつくり、香川県をはじめとする全国の人や団体が大川村に来て、植樹や下草刈りなどの作業をしてくれます。このように、山に対してもう一度向き合ってきた地域でさえ危機感を募らせている現状に、どのような活動をしているのか、白滝の里を運営する「大川村ふるさとむら公社」専務理事の近藤政徳さん、協同組合「木星会」代表の川村純史さん、大川村森林組合の山中哲也さんに話を伺いました。3人に案内されたのは、白滝の里から旧鉱山鉄道があつた山沿いの道、徒歩20分程度の場所。とてもきれいに整備されている帶がありました。

ふつと聞こえたのが『山の整備は環境を守り、自分たちの心も満たされるけど、これって目に見える効果ってわかるの?』という女性の声でした。

植樹した間伐した、言葉では『山』にとつてこんな効果があります』といえど、それがどこまで正しいかは言いきれないし、比較もできない。その中で、目に見える効果を考えたときすぐに『水が枯れた山に谷を復活させる』ことを目標にしました」と川村さん。

「健全な山」のデータができる。  
それを目標に皆が活動できる。

有志の会ではその目的のために、今年から山のデータを整理、測定をしていきます。企業が整備している場所は、実施前に山中さんらが測量したものがあり、企業が今までどの種類の広葉樹をこの年はどうに何本植えたか、間伐はどうしたかなどを保全活動の記録が残っています。そうしたデータを整理してきました。3人に案内されたのは、白滝の里から旧鉱山鉄道があつた山沿いの道、徒歩20分程度の場所。とてもきれいに整備されている帶がありました。

「ここは15年ほど継続して、県外の企業さんが整備している場所は、実施前に山中さんらが測量したものがあり、企業が今までどの種類の広葉樹をこの年はどうに何本植えたか、間伐はどうしたかなどを保全活動の記録が残っています。そうしたデータを整理してきました。3人に案内されたのは、白滝の里から旧鉱山鉄道があつた山沿いの道、徒歩20分程度の場所。とてもきれいに整備されている帶がありました。

水が枯れた山に谷が復活する。この取り組みで結果がるのは30年あるいは100年先かも知れません。そのためにも資料をつくってく。森林保全活動に参加してくれている人たちにとっても『次の世代にバトンタッチできるというプレゼント』なんです。それって面白いことでしょう。やっぱり感動がないと長続きしませんよね」。(川村さん)



# 家族で楽しめる高知山の施設

クーポン付き 笑顔とふれあいと癒しを求めて、次の休日に山の施設で遊びませんか。



## オーベルジュ土佐山



### [特典] 入浴料金100円OFF

高知市山間部にありながら、土佐旅館が洗練された雰囲気を醸し出す「オーベルジュ土佐山」。新鮮な海山川の幸を提供するレストラン、山々の爽やかな風を感じる天然温泉、建物に地元の杉・檜を使用した隠れ家のようなヴィラ、ここは深緑の中の極上リゾートだ。

【時】レストラン／ランチ11:30～14:00 ディナーのみ17:00～21:00(L.O.20:30) 要予約 カフェ&バー／11:00～22:00 【料】入浴／大人800円、小人400円 宿泊／1泊2食付16,800円～ 【休】無休 【住】高知市土佐山東川661 【電】088-850-6911 【HP】http://www.orienthotel.jp/tosayama/

## 中津渓谷 ゆの森



### [特典] 1泊2食付をご利用のお客様にワンドリンクサービス(電話予約のお客様に限ります)

仁淀川町産木材をふんだんに使った外観が、中津渓谷の自然と調和した、仁淀川上流域の宿。木造りの露天風呂から眺める景色も壮观だ。宿泊では、旬の食材を用いた和食膳・フレンチフルコースが味わえる。日帰り入浴・ランチも利用可能。仁淀ブルーを満喫した後、ぜひ立ち寄りたい。

【時】温泉／11:00～21:00 レストラン／11:00～20:00(O.S.) ※14:00～15:30はティータイム 【料】入浴／大人600円、小人300円(12歳まで、2歳以下無料)毎週木曜日は12歳以下入浴無料 宿泊／和室1泊2食付12,500円～ 【チ】イン15:00 アウト10:00 【休】火曜日(祝日の場合は翌日) 【住】吾川郡仁淀川町名野川1258-1 【電】0889-36-0680 【HP】http://www.yunomori.jp/

## 森林保養センター 森の温泉 やなせの湯



### [特典] 入浴料金50円OFF

日本三大美林・千本山入口にある「やなせの湯」は、お肌がつるつるになる美肌の湯と評判の温泉。周辺に、魚梁瀬林を建材に使用したレストラン、キャンプ場も併設。温泉の近くを走る森林鉄道の機関車は子どもたちに大人気。大人も童心に返って楽しめる。

【時】12:00～20:30(但し土、日、祝日は11:00～20:30) 【料】入浴／大人400円、小人(小学生以下)200円 【休】水曜日 【住】安芸郡馬路村大字魚梁瀬丸山公園内 【電】0887-43-2240 【HP】http://www2.ocn.ne.jp/~yanase/

## べふ峡温泉



### [特典] 入浴料金100円OFFもしくは宿泊料金10%OFF

「べふ峡温泉」は、新緑、紅葉、雪景色など四季の渓谷美に彩られた山里の宿。アメゴやイノシシ鍋など郷土の料理に舌鼓を打ち、柔らかな泉質の温泉で物部川源流のせせらぎに耳を澄ませる。周辺のレジャー・散策を含めて、奥物部の恵みと風土を五感で体感しよう。

【時】温泉／7:30～21:30 レストラン／10:00～20:00 【料】入浴／大人600円、小学生以下300円 宿泊／8,360円(1泊2食付)、小人料金あり 【チ】イン16:00 アウト10:00 【休】無休 【住】香美市物部町別府452-2 【電】0887-58-4181 【HP】http://www.befukyou-onsen.com/

## 農家民宿&カフェ「レーべン」



### [特典] 宿泊料金500円OFF

吉野川と四国連峰を一望できる梶ヶ森山腹の「レーべン」。1日1組限定の農家民宿で、そばに土日限定のカフェが併設している。抜群の眺望の中、有機野菜の収穫体験やバーベキューを楽しんだ後、ロッジのテラスで満天の星空に包まれると、心も体もリフレッシュする。

【時】カフェ／11:00～16:00(土日のみの営業) 【料】宿泊／1泊2食付7,000円～、素泊まり4,000円(金土日祝および7月14日～9月30日の料金はプラス1,000円) 【チ】イン17:00 アウト10:00 【休】12月～3月中旬 【住】長岡郡大豊町佐賀山キチヤ1253-3 【電】090-1004-5611 【HP】http://www.otoyo-leben.com/

# みどりの遊び場



## 茶堂と水車小屋

訪れる人を出迎えてくれる、江戸時代に構原街道を行く人々をおもてなしした茶堂と、昔の日本を思わせる水車小屋。どちらも公園入口にあり、風情ある茅葺き屋根が特徴だ。

## 草スキーコース

軽く100メートル以上はある、広大な緑のゲレンデは、地元の子どもたちに大人気。季節を問わず、わんぱくたちがソリや段ボールを手に、夢中で駆け回っている。

## きつつき館

太郎川公園の管理棟であり、木工芸などの自然体験ができる学習館。

たくさんの本が揃っているので、園内で見つけた植物を図鑑で調べてみよう。草スキーコースで使うソリや、バドミントンの道具、テントなどの貸し出しも行っている。

## ヤマガラ

愛らしい公園のアイドル。スマートジングルウカラケシジュウカラ属に分類される鳥類で、全長は13～15cm。青みがかった羽が美しい。西森さんが餌付けした数羽は、指先でひまわりの種をまんでいると、咥えて飛んでいくそうだ。

家族で過ごす緑の時間！  
訪れる人を鳥たちと木々がおもてなし。

## 太郎川公園

構原の魅力がぎゅっと詰まつた太郎川公園。ここには、自然体験施設・きつつき学習館をはじめ、草スキーコースやキャンプ場、野鳥の森、歴史ある茶堂や水車小屋など、様々な見どころがあります。リビーターも多いこの公園のヒミツを、実際に訪れ、確かめました。

構原町は、森林保有率が91%を誇り、町全体が森林セラピーベースに認定されている。緑

を誇り、町全体が森林セラ

ピーベースに認定されて

いる。緑

を誇り、町全体が森林セ

ラピーベースに認定されて

# 平成24年度 こうち山の日推進事業一覧

秋から冬にかけて、魅力的な山のイベントがたくさんあります。森林環境税を活用した「こうち山の日推進事業2012」の主なイベントです。

イベント名	日 程	場 所	問合せ先
障害者とのボランティアの森林活動のつどい2012	11月3日(土)	甫喜ヶ峰森林公園	障害者の生活と権利を守る高知県連絡協議会 TEL／088-871-6440 FAX／088-871-6592
山師達人選手権大会第20回記念シンポジウム事業	11月3日(土)	馬路村就業改善センター	山師達人選手権大会実行委員会 馬路村役場担当:清岡 TEL／0887-44-2333
第9回ふなと四十万源流ウォーキング	11月10日(土)・11日(日)	津野町船戸	堂好海せいらん 四十万源流ウォーキング係 TEL／090-4472-8291 FAX／0889-62-2475
室戸段ノ谷山自然体感森林教室	11月11日(日)	室戸市佐喜浜町段ノ谷山	高知県キャンプ協会 TEL-FAX／088-882-0629
「大月町ウバメガシと製炭業」体験学習事業	11月11日(日)	大月町橋浦・田城	大月町備長炭生産組合 TEL／090-6880-7426 FAX／0880-73-1633
自然遺産の恵みを感じるバスツアーやなせ千本山	11月11日(日)	馬路村魚梁瀬千本山	高知県木材普及推進協会 木と人・出会い館 TEL／088-821-2266
たんころな日～森の恵みで薪を作ろう～	11月11日(日)・12月9日(日)	本山町汗見川ふれあいの郷清流館	たんころクラブ 本山町役場まちづくり推進課 TEL／0887-76-3916
「こうちの木の気になる木工品」展示会とワークショップ	11月11日(日)～11月25日(日)	土佐山田情報交流館	情報交流館ネットワーク TEL／0887-52-0087
鏡川自然塾 森林教室	①11月17日(土)・18日(日)・12月22日(土)・23日(日)・1月19日(土)・20日(日) ②工石山周辺コウモリ調査のフィールド実習 ③工石山周辺植物調査(A)講義と(B)フィールド実習	高知市工石山周辺	特定非営利活動法人環境の杜こうち TEL／088-802-2201 FAX／088-802-2205
須崎市のてっ�ん蟠蛇森(桑田山)宝を掘り起こそう!	11月18日(日)	須崎市桑田山	桑田山温泉 TEL／0889-45-0055
四国シビエフェスタ2012	11月18日(日)	ゆとりとパークおおとよ	嶺北ジビエ実行委員会 TEL／0887-72-0700
2012ネイチャーゲーム リーダー養成講座(高知会場)	11月23日(金・祝日)～25日(日) 2泊3日	室戸青少年自然の家	高知県ネイチャーゲーム協会 担当:永野 TEL／090-4970-6457
木の力・医療施設にもと木をパネルディスカッション	11月25日(日)	高知市リハビリテーション病院「すこやかな杜」	高知県木材普及推進協会 木と人・出会い館 TEL／088-821-2266
こうち山の日普及啓発イベント「交流館祭り」	11月25日(日)	土佐山田町情報交流館	情報交流館ネットワーク TEL／0887-52-0087
大座礼山潤れ池再生事業	11月25日(日)	大川村大北川大座礼山	社団法人大川村ふるさとむら公社 担当:近藤 TEL／0887-84-2201
四十万町ヤイロチョウの森に間伐材を使って東屋作り	11月予定	四十万町下道地区	社団法人生態系トラスト協会 TEL／088-841-5400
森川海人 つながり再発見! ①四十万の源流点を目指しながらアニマルトレッキング ②自然の恵みを活かした郷土食づくりや物づくり	①11月予定 ②12月予定	①津野町入不山 ②四十万楽舎	(社)西土佐環境・文化センター四十万楽舎 TEL／0880-54-1230
「こども・森・つながり」事業	①12月1日(土)②12月2日(日) ③12月又は1月の予定	高知市若草幼稚園すぐの森他	こうちはら 担当:仁尾 TEL／080-2982-7120
森を散策し、間伐材でプランターを作ろう	12月2日(日)	高知市朝倉アシロ山	森の元気! お助け隊 担当:岡崎 TEL／088-846-1371
海、山、川でひとつの宝箱	12月2日(日)	室戸市佐喜浜町・安芸郡奈半利町・安芸郡田野町(野根山街道)	佐喜浜の源木を育てる会 担当:田村 TEL／090-3173-9174
豊かな森にすまう者高知のコウモリ展	1月から開催	企画展・越知町横倉山自然の森博物館 パネル展・高知大サイエンスキャラリー・牧野植物園・わんぱくこうちアニマルランド	特定非営利活動法人四国自然史科学研究センター TEL／0889-40-0840
動物観察会	1月13日(日)	梶ヶ森県立自然公園	山莊梶ヶ森 担当:上田 TEL／0887-74-0256
海と森のつながりを考える	1月19日(土)・1月20日(日)	土佐清水市 竜車ふれあいセンターと三崎川流域の山林	サンゴの森の救援隊 担当:浜口 TEL／090-7623-9643
地域と共に、緑豊かな学校づくりプロジェクト	1月中旬予定	室戸市佐喜浜中学校	佐喜浜の源木を育てる会/担当:田村 TEL／090-3173-9174
東山森林公園桜植樹事業	1月中旬予定	安芸市東山森林公園	安芸と水の会 安芸市役所 TEL／0887-35-1016

\*イベント内容や時間等、詳細については主催者にお問合せください。

## 表紙は語る

### きのどうぶつえん

表現活動を通じて、障害のある人たちが“本来の自分になれる”ことや、社会全体が優しい空間になれる事を願い活動している「アートセンター画楽」(高知市)で、作品を創る岡田文さん。タイトルは「きのどうぶつえん」です。本人は木の写真から「みよったる木のまわりに動物がでてきた。かわいいらしいなあー。」と話してくれました。彼女にはきっとかわいい動物たちの姿が想像できただんですね。



### 岡田 文 Okada Fumi

岡田さんの作品づくりは、国鑑を見て、写真を見て、「これはなんだろう?」という疑問から想像を膨らませて、作品が生まれていきます。国鑑を繰り返し見て描いているときは、息を止めているんじゃないかと思うぐらい集中しています。

## mamori



森の文化・自然体験メニュー窓口

こうち森のささやき

<http://www.moritomidori.com/sasayaki/>

高知県林業振興・環境部 林業環境政策課  
〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番52号  
TEL／088-821-4586 FAX／088-821-4576  
E-Mail／030101@ken.pref.kochi.lg.jp  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/>

森林環境税は、県民みんなが負担することで森とのかかわりを認識し、森を守っていくという森林保全を目的とする高知県の税制度です。県民税に年額500円を上乗せするもので、個人、法人ともにご負担をいただいております。  
発行日／2012年10月 制作・編集／クリケット「季刊高知」編集部 with ゴーゴー・デザイン 田門幹也

この冊子は再生紙を使用し、大豆油インクで印刷しています。



## アンケートにご協力下さい

① 高知県の「森林環境税」を知っていましたか。(1つだけ)

- ① 内容なども良く知っている ② 名前は知っているが内容はあまり知らない  
③ 知らない ④ その他( )

② 本誌をどちらで入手しましたか。(1つだけ)

- ① 学校・幼稚園などの教育機関 ② 観光施設や道の駅、直販所など  
③ 図書館や郵便局、銀行、病院など公共施設  
④ スーパーや飲食店、美容院など ⑤ その他( )

③ 今回の誌面で興味を持ったページはありますか。(いくつでも)

- ① 特集 ② 木と本と ③ 家族で楽しめる高知・山の施設 ④ みどりの遊び場  
⑤ 森からの贈り物 ⑥ mamoriかるた  
⑦ 別のことを取り上げてほしい(例えば)

④ 本誌を読んで森林環境税の理解が深まりましたか。(1つだけ)

- ① 良く理解できた ② 少しあは理解できた ③ よくわからない  
④ その他( )

⑤ 今後、「mamori」を取り上げてほしいテーマはありますか。(いくつでも)

- ① 森林や、森林環境税の広報 ② 森林や山を守る県民の活動  
③ 子供たちの森林環境学習 ④ 間伐など森林整備の活動  
⑤ 地域住民による荒廃した里山・竹林の整備活動  
⑥ 公共施設の木質化の動き ⑦ シカ被害対策などの取り組み

⑥ 山や森林に関わる活動に参加したことがありますか?

- ① よく参加している ② 時々参加している ③ 1~2回参加したことがある ④ 参加したことがない

⑦ 今後、どのような活動に参加したいですか?(いくつでも)

- ① 森林保全活動 ② 森林環境教育 ③ 登山・ハイキング ④ 木工・クラフト ⑤ 自然観察  
⑥ 山村交流 ⑦ その他( )

⑧ 高知県が行っている森林環境税や本誌について、ご感想やご意見をお願いします。

\*アンケートへのご協力、有難うございました。